

パブリック・コメント手続実施結果報告

様式3

| | |
|--------|----------------------------------|
| 番 号 | 23 - 3 |
| 案件名 | 第2期中野区自殺対策計画（案）に係るパブリック・コメントの募集 |
| 意見募集期間 | 令和5年11月24日（金） から 令和5年12月14日（木）まで |

1. 提出方法別意見提出者数

| 提出方法 | 人（団体）数 |
|--------|--------|
| 電子メール | 1 |
| ファクシミリ | |
| 郵 送 | |
| 窓 口 | 2 |
| 合 計 | 3 |

2. 提出された意見の概要及びそれに対する区の考え方（同趣旨の意見は一括）

| | |
|-------|-----|
| 合計意見数 | 3 件 |
|-------|-----|

【 自死遺族支援 について 】 （ 1件 ）

| No. | 提出された意見の概要 | 区の考え方 |
|-----|--|---|
| 1 | <p>自死遺族の立場で伝えたいことは、遺された人は自分が死ぬまで頭から消えることはないということです。また、今、死にたいと考えている人に伝えたいのは、「貴方の大事な人が突然死んだらどう思われますか。」という思いです。自死遺族の声を政策に活かしていただければと思います。</p> | <p>自死した人の周りの方については関わりの度合いに応じて様々な心理的影響を受けていると言われていますが、中でも家族は最も身近な存在であり、影響も計り知れないものと考えます。自死が起きないことが一番ですが、起きてしまった後のサポートについても遺族の方の声を聞きながら強化して参ります。具体的には、おくやみガイドブックや中野区版の自死遺族向けリーフレット、その他の広報手段で、気持ちをお話できる場などの情報を確実に届けていきます。また、自死遺族の想いを伝える場についても、自死遺族の方の負担にも配慮し、想いを伝えていく形式については検討を進めて参ります。（修正なし。）</p> |

【 子ども若者支援 について】 (1件)

| No. | 提出された意見の概要 | 区の考え方 |
|-----|---|---|
| 2 | 子ども若者支援センターの事業紹介の箇所に若者の居場所(まごころドーナッツなど)についても書いていただけるとありがたいです。 | 子ども・若者の自殺については、全国的に増加しているため、中野区としても、相談先は一つではなく、居場所を含めて様々な形態で、安心して相談できる場が存在していることが好ましいと考えます。居場所を漏れなく伝えていく目的からも、若者の居場所を掲載する方向で検討いたします。 (修正あり。「3 提出された意見により変更した箇所とその理由」参照。) |

【 基本理念 について】 (1件)

| No. | 提出された意見の概要 | 区の考え方 |
|-----|--|--|
| 3 | 自殺が個人の問題ではなく、社会的に追い込まれた末の死であることと、他人事ではなく身近な問題と捉えることの大切さが伝わりました。計画全体にこの理念が必要だと思います。 | 計画の基本理念については、国や東京都が掲げる理念に沿いながら、中野区ではどのように自殺に追い込まれないようにアプローチしていくかという部分に重きを置いて表現いたしました。この基本理念どおりに、誰もが孤立することなく、重層的な支援の中で必要なサポートに繋がっていくことで、自殺予防を推進して参ります。 (修正なし。) |

3. 提出された意見により変更した箇所とその理由

| No. | 変更した箇所 | 変更の理由 |
|-----|---|---|
| 1 | 施策Ⅲ 対象者に合わせた「生きる力」の促進／2 若年層の特性に合わせた支援の強化に、中野区若者フリースペース「まごころドーナッツ」を追加。 | 相談窓口だけでなく、気軽に集える居場所から相談に繋がることも多いため、若者をサポートする場の一つとして事業を掲載する。 |